

確実な穂肥施用と水管理で高温対策！

1 コシヒカリの出穂期予想と穂肥時期のめやす

表 出穂期と穂肥時期

		← 全量基肥一発の追肥時期 →	
田植日	出穂期予想	2回目穂肥 (出穂期10日前)	3回目穂肥 (3日前)
5/15	7/31頃	7/21	7/28
5/20	8/2頃	7/23	7/30
5/25	8/4頃	7/25	8/1

※ 5/20植えコシヒカリの出穂期は平年より2日程度早い8/2頃の見込みですが、田植えが早いほど出穂期が早まっています。5月上旬植えコシヒカリでは7/25頃に出穂期を迎えるほ場も見られるので、ほ場の状況をよく確認してください。

2 2回目穂肥はただちに施用し、後期栄養確保

○ 分施肥系

- ・ 2回目穂肥をまだ施用していない場合は、ただちに施用しましょう。
- ・ 葉色が薄い場合 (SPAD値で31以下)は2回目穂肥施用量を増量しましょう。

○ 全量基肥一発体系

- ・ 出穂期の葉色 (SPAD値) が32～33を下回ると予想される場合は、ただちに追加穂肥を施用しましょう。

表 コシヒカリの2回目穂肥の標準的施用量

N成分量	[施用例] 越後の輝き有機50穂肥 越後の輝き有機30穂肥
1～1.5 kg/10a	8.3～12.5 kg/10a



高温に負けないよう
2回目穂肥は必ず
施用しよう！

3 葉色が薄い場合は、3回目穂肥を走り穂が出る頃までに施用

- 2回目穂肥施用後も、葉色が薄い場合は、分施肥系、基肥一発体系いずれの場合も、速効性肥料で追加穂肥 (3回目穂肥) を施用しましょう。

※ 特別栽培米で計画にない追加穂肥や施用量を増やす場合は所定の手続きを行ってください。

表 コシヒカリの追加穂肥 (3回目穂肥) 施用めやす

追加穂肥が必要な稲姿	施肥時期	施肥量	施肥例
出穂期3日前の葉色 (SPAD値)が31以下	出穂期3日前 (走り穂が出る頃) まで	N成分量 1 kg/10a	硫安(N成分21%) 4.7kg/10a
			化成肥料(N成分14%) 7.1kg/10a

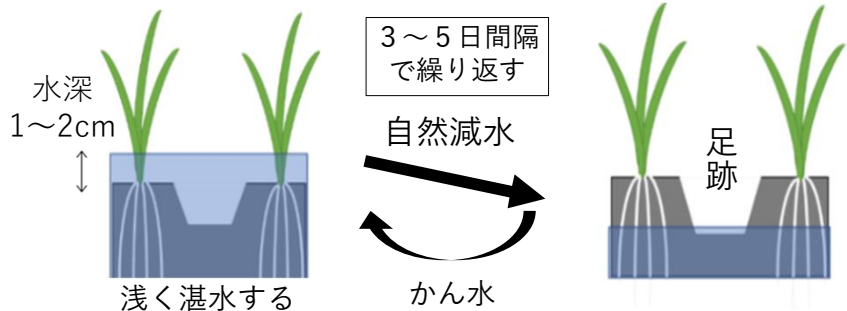
4 出穂期前後は最も水を必要とする時期！飽水管理の徹底を！

- 田んぼを過度に乾かすと土壌からの窒素の発現が著しく抑制されます。後期栄養を維持するために、出穂期25日 後までは飽水管理を徹底しましょう。
- フェーン現象等による異常高温や乾燥が予想される場合には、地域の用水計画に応じて、早めのかん水をしましょう。ただし、長期の湛水は避け、可能な限りほ場の水温上昇を抑えるこまめな水管理をしましょう。

【飽水管理の方法】

飽水管理とは…

水尻は止水し、自然落水で田面の水がなくなり、溝や足跡の底に水が残る程度になったらかん水する。



限りある用水を大切に！

- こまめな水回りを行うとともに、末端のほ場まで用水が行き渡るように、ほ場全体に水が行き渡ったら水口を止めましょう。
- 番水やローテーションで用水を有効に利用するなど節水を心掛け、かけ流しは絶対に行わないようにしましょう。

5 斑点米カメムシ類の防除は適期に！

- 7月のすくい取り調査では、例年同様、カメムシの発生が確認されています。
- 農道・畦畔の除草は、雑草が結実しない間隔で行いましょう。
- 水田内のノビエやホタルイは斑点米カメムシ類の発生源のため除去しましょう。
- 薬剤防除は、各薬剤の適期に実施できるように準備しましょう。
- 水面施用剤は、防除効果を確保するために、水深3cm程度の浅水条件で、できるだけ散布後好天が予想される日に散布しましょう。

【QRコードを読み取り稲作情報を確認しよう】

JA魚沼 北魚沼地区
営農情報（LINE）はこちら→



お問い合わせ先

JA魚沼北魚沼基幹営農センター 025-793-1770
(SPADの貸し出しもJAで行っています)

魚沼農業普及指導センター
HP稲作情報はこちら→



魚沼農業普及指導センター 025-792-1309

熱中症対策を必ず実施しましょう

- ・ こまめな水分・塩分補給
- ・ 朝など涼しい時間帯に作業



つばの大きい帽子や、吸湿速乾性の衣服、空調服などのアイテムを活用して、熱中症対策をしよう！